

## 株式会社 高橋土建

認定テーマ名：建設廃材を抑制した側溝改修工法（ネプラス工法）の事業化

## 1. 認定を目指した経緯

同社は、側溝改修の短期化、改修費の削減、産業廃棄物の削減を目的とした、独自のネプラス工法を開発し、その普及を目指して側溝改修製品およびカッティングマシンの設計・製造を建設業である自社単独で行っていた。しかし、製品や機械の品質を安定させて量産するには、専門分野の知識や経験が必要であると考え、有識者や各専門分野（機械製造業・コンクリート2次製品製造業）の企業との連携を図っていた。その頃、新潟県内の支援機関より認定制度の紹介を受け、その主旨に賛同し、認定を目指すことになった。

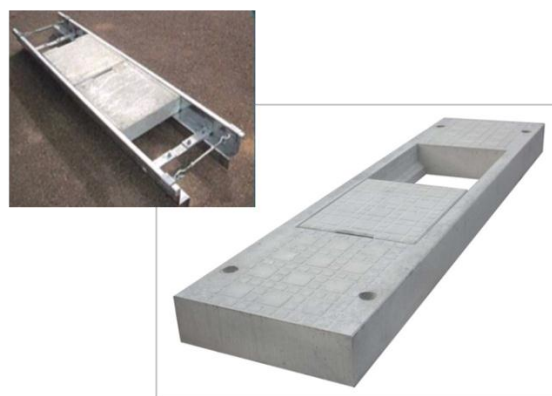
## 本事業のネプラス工法による側溝改修の例



## 本事業の工事機械と部品



←初号機(自社開発)  
**サイトカッティングマシン**  
 (側溝上部の破損部を水平方向に切り取る機械)  
 切断精度や耐久性が向上した量産機



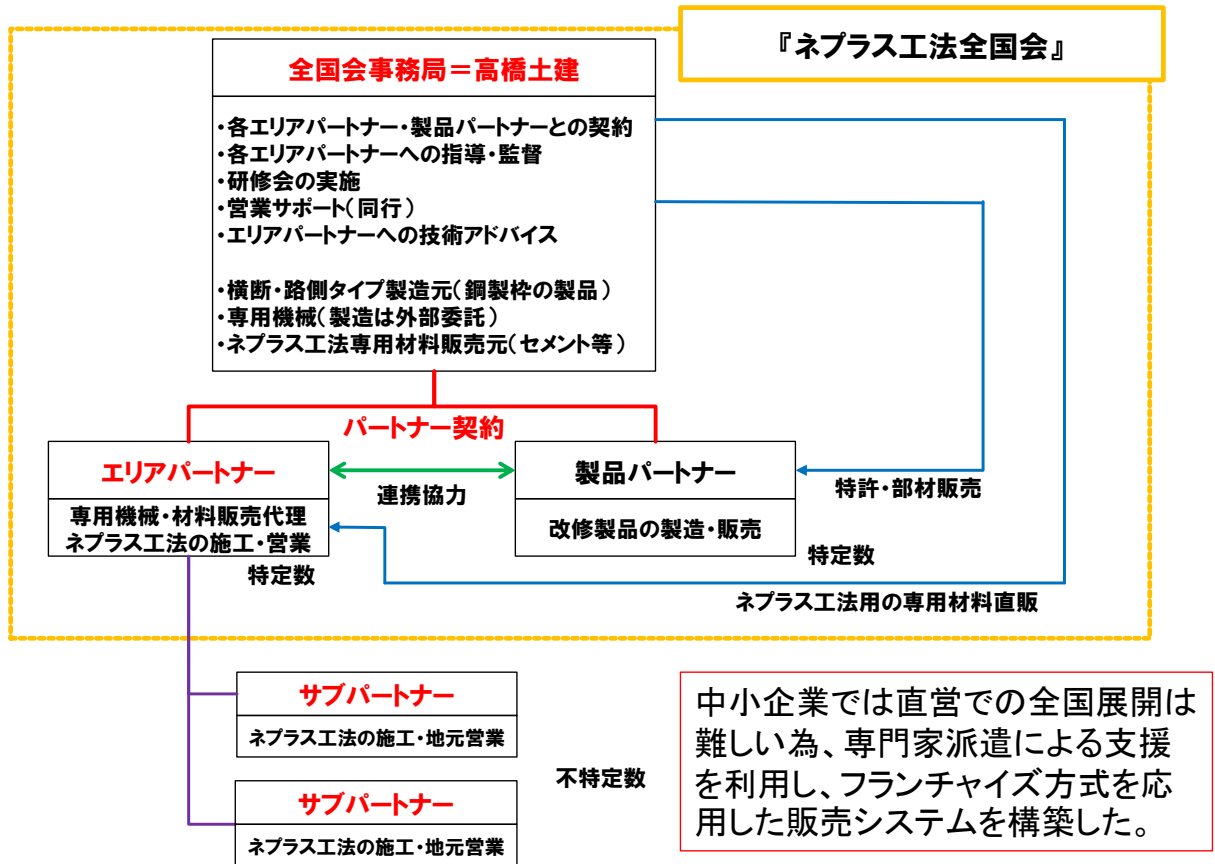
**側溝上部改修製品**  
 (側溝上部撤去箇所に新たに設置する改修用製品)  
 従来の製品よりコストダウン、機能性やデザイン性も向上

## 2. 認定事業の現況

本事業は順調に拡大し、10 都道府県以上への展開が進んだが、拡大に伴う課題整理のため、全国拡大を抑えていた。しかし、「誰でも施工が可能」で「全国の地元発注者が扱いやすい工法と仕組み」を明確にし、新たな組織運営体制を構築したことにより次への展開が見えてきた。

東北方面を中心にネプラス工法の入札物件による工事が大規模化し、その他の地域では例年通りの発注が続いている。引き合いも増えており今後が期待される。

ネプラス工法全国会の推進体制



3. 今後の展望（見通し）

「ネプラス工法全国会」という新たな組織体制のもとで、全国ネットの土建業者等のネットワークの活用や専門誌、新聞等を活用したネプラス工法の普及活動を推進する。

同社が「ネプラス工法全国会」の「全国会事務局」として取り纏め、各地のパートナー企業（地方自治体の側溝改修を受注）と共存共栄を図っていくとともに、ネプラス工法で側溝工事の「工期短縮」、「工費削減」、「産業廃棄物削減」を実践し、社会に貢献していく。

4. 利用した中小機構の支援策

認定初期の技術開発期には、補助金の活用方法や技術開発について、専門家のアドバイスを受けた。販路拡大期には、展示会への出展の斡旋や出展補助を受け、販促ツールやその補助金活用のアドバイスを担当アドバイザーより受けた。商圈拡大期には、経営に関するアドバイスを受け、全国拡大に伴う課題整理と対応のためのフランチャイズ手法を応用した販売網・組織の再構築のため、専門家派遣制度を活用し、認定終了段階で「ネプラス工法全国会」を取りまとめるに至った。

## 5. 企業概要

事業者名	高橋土建株式会社		
本社所在地	新潟県胎内市関沢 37 番地 1		
ホームページアドレス	<a href="http://www.t-doken.jp/">http://www.t-doken.jp/</a>		
設立年月	昭和 60 年 6 月		
資本金	23,000 千円	従業員数	22 名
売上高	全体 500,000 千円、認定事業の売上高 655,200 千円(累計)		

※平成 25 年 7 月 27 日現在

## 6. 認定事業の概要

テーマ名	建設廃材を抑制した側溝改修工法（ネプラス工法）の事業化
テーマの概要	道路の側溝の改修工事において、損傷している側溝の上部のみ切断・除去して、改修部材と補強金具によって補修する新たな工法（ネプラス工法）を開発し、工期短縮、工費削減、産業廃棄物削減を目的とした側溝改修工事事業を全国展開する。
認定期間	平成 20 年 7 月 28 日～平成 25 年 7 月 27 日